

平成31年第1回玉野市教育委員会 会議録

I 期 日： 平成31年1月22日（火） 於：第1委員会室

II 開会時間： 14時00分

閉会時間： 16時00分

III 出席委員： 教育長 石川 雅史 教育長職務代理者 大川 佳郎
 委員 野田 洋二 委員 近藤 寿子
 委員 妹尾 恵美

IV 欠席委員： ー

V 出席者氏名： 教育総務課長 服部 克巳 学校教育課長 住田 義広
 就学前教育課長 牧野 真哉 社会教育課長 三宅 忍
 （書 記） 山内 祐樹

VI 会議内容：

1. 開 会

2. 前回会議録の承認

平成30年第17回教育委員会会議（H30.12.26）の議決事項等について。

教育長報告：平成30年12月定例市議会一般質問項目について

議 事：議案第33号 玉野市学校運営協議会に関する規則の一部を改正する規則について

協 議：なし

そ の 他：平成30年12月補正予算（追加提案）の概要について 他6件
(承認)

3. 教育長の報告 なし

4. 議 事 なし

5. 協 議

(1) 玉野市総合計画について

(石川教育長) 資料により説明。

(野田委員) (P3)施策 27 芸術・文化活動の推進について、目標値が前回と変わっているのはなぜか。

(石川教育長) 議会の指摘を受け、上方修正した。

(妹尾委員) (P13)施策 33 学校教育の充実と..の現況と課題にある、発達障害の支援と虐待等の支援は支援の質が違う。並記されていることに違和感を感じる。

(石川教育長) 支援の質は異なるが、文末の「関係機関との支援ネットワーク体制の強化がますます求められ」ていることは共通している。

(学校教育課長) 個別の支援を要する児童生徒が増加傾向にあるという意味合いなのだ。

(近藤委員) 発達障害や虐待『等』とはあるが、この2つの印象が強すぎる。

(大川委員) 「学校教育の充実」にキャリア教育と虐待が混在しているのはすっきりしない。29 子育て支援の充実の⑥にも児童虐待の防止がある。

(学校教育課長) 29 子育て支援の充実に書かれているのは、家庭環境の改善や保護者の意識改革の部分、33 学校教育の充実は学校の中で子どもに対する支援をどうするかについての記述だ。

(石川教育長) 「発達障害や虐待等の支援が必要な..」を「個別の支援が必要な..」とし、「課題の解決には」を「支援の充実には」とする。関連して次ページの今後の主な取組③の冒頭も、「個別の支援が必要な..」に改める。

(2) 玉野市教育大綱について

(石川教育長) 資料により説明。

(野田委員) P4 の②の本文は、「可能性に挑戦する」という表題に結びつきづらく感じる。

(学校教育課長) 「主体的に」という部分が自らの可能性に挑戦することに繋がると考えている。

(野田委員) 「主体的に生きて」や「今後の未来像を想定」という部分の流れが悪く感じる。どちらかを削除し、後段に「挑戦」という言葉を入れた方がよいのではないか。

(学校教育課長) 文言を整理する。

(野田委員) P5の①は内容が重複している部分がある。

(社会教育課長) 元々は市施設間の連携と、市と関係機関の連携とを分けて記述していた。文言整理する。

6. その他

(1) 平成31年玉野市成人式実施報告について

(社会教育課長) 資料により説明。

(2) 平成31年 2月/3月 月間行事予定について

(教育総務課長) 資料により説明。

次回、教育委員会は平成31年2月5日(火) 14:30から特別会議室で開催するので参集願います。

以上で、第1回教育委員会を閉会します。

議事録調整者

書記

山内 祐樹



会議録署名委員

教育長

石川 雅史



〃

教育長職務代理者

大川 佳郎

